

No part of the candidate's evidence in this exemplar material may be presented in an external assessment for the purpose of gaining an NZQA qualification or award.

SUPERVISOR'S USE ONLY

S

93002



Draw a cross through the box (☒) if you have NOT written in this booklet

☐

+

TOP SCHOLAR



Mana Tohu Mātauranga o Aotearoa
New Zealand Qualifications Authority

Scholarship 2023 Japanese

Time allowed: Three hours
Total score: 24

Check that the National Student Number (NSN) on your admission slip is the same as the number at the top of this page.

There are two sections in this examination:

- Writing – Questions One and Two
- Speaking – Question Three

The writing section takes place during the first two hours of the examination. Answer Questions One and Two in this booklet.

The speaking section takes place in the third hour of the examination. The supervisor will let you know when you are to go to the recording room, where you will receive Question Three.

If you need more room for your answer to Question One or Question Two, use the extra space provided at the back of this booklet.

Check that this booklet has pages 2–15 in the correct order and that none of these pages is blank.

Do not write in any cross-hatched area (AREA DO NOT WRITE). This area may be cut off when the booklet is marked.

YOU MUST HAND THIS BOOKLET TO THE SUPERVISOR AT THE END OF THE EXAMINATION.

LISTENING PASSAGE: アプリはべんり? (Are apps convenient?)

Listen to this conversation between Yumiko and Sam, her high school classmate. Yumiko and her family are from Japan and have been living in Aotearoa New Zealand for a long time.

Refer to the conversation in your answer to Question One on page 3.

You will hear the passage three times:

- The first time, you will hear it as a whole.
- The second and third times, you will hear it in sections, with a pause after each.
- As you listen, you may make notes in the space provided.

Glossed vocabulary

ほんやくする to translate

じぶん

oneself

アプリ app

LISTENING NOTES

* FOR AND AGAINST

明日 じゃまのあと日本語のしゅくだい手伝う

アプリ使 正しい?

NZにある日本人のための学校に行かなくても

→ 両親日本人 子供のころから

日本の生徒と同じ 漢 ます✓

ニュース / 本もぬない / ていねいに話せない

住んでないといわれる国でも大変

→ だからほんやくアプリ (A) ↓

→ 色々つかえる

日本語 → ストレス → 続けたらいい仕事

だからがんばる

頭もよくなる (外国語)

自然に耳に → 日本の文化 / 習慣 からこうでわかる ✓ 3葉

ex. 7月七夕イベント マオリのマオリキと似てる → 裕介!

こぼれ / 文化からの楽しい

ex. 1000冊子き しゅみでかんこく → もっとたのしい

外国語のえいが → originalでみたい

話してるこゝにほんやくアプリ自分の国のためにていねいという人

新しい目 → 世界広く → 親かおをみて会える 顔

BP3: しかしかんきょういける人 (11P)

便 (11P) 学 (11P) 便 (11P) 学 (11P)

フェイス

Intro

でもでも自分の楽しみのために
にそうじゃないほうかい

BP1 FOR

べんり / 世界のつながり
は

BP2 AGAINST

文化をしっかりとけいけんとはい
just as 学び = goes to school

BP3 FOR / AGAINST

1000冊 = 増えるものとcommon
でもフェイス = 学 get better

Conclusion

便利になるのはいい!

でもモチベーションを落として just

QUESTION ONE

such as apps

"Recently, translation technology and tools have become so accessible and advanced that you don't need to study another language."

Respond in Japanese giving arguments for and against this opinion.

Use evidence from the listening passage, as well as your own and other views, to support and justify your response. Develop a structured and well-considered argument.

「最近、翻訳技術や道具が、より身近で高度になっているため、ほかの言語を勉強する必要はない。」

この意見について、賛成と反対の両方の論点を日本語でこたえてください。
会話で聞いた内容、自分やほかの人の意見にもふれながら、回答をサポートし
正当化してください。よく考えた内容と構成の議論を展開してください。

Respond in Japanese.

最近、翻訳技術や道具が毎日より高度で身近になる今の世界ではこの技術のおかげでほかの言語を勉強する必要はないことはあっても、決して完全にそうではない。この技術の発展のおかげでほかの言語を学ぶことがより多くの人にとって便利になってより広い範囲で言語を通じて世界をつなげる利点がある一方、個人の外国の文化や習慣に関する知識は得にくく、他国についての理解が深かまるとは言えないなどの弱点もある。総じて、この意見に関して賛成、反対の両者の点がある。

今の世界ではテクノロジーが急速に発展し翻訳技術のアプリの道具などが除々により身近で高度になっている。特にコロナを経験した現代社会の人々はオンラインで物事を行うことの便利さに気づきよりアプリなどを利用することが多くなったと言えるだろう。これは、ニュージーランドに住むサムなどの人に日本語を気軽に学ぶ機会を与え、言語を学ぶことを簡単にするという利点がある。しかし、このように言語を学ぶことが簡単になり、翻訳技術が発展するからこそ言語を学ぶ必要はなくアプリや翻訳技術にただ頼ればいいと言う人が生まれてくる。これは言語を学ぶことへの関心を減らしその国々の文化や習慣について学ばず、他国のことを表面上でしか知らない浅い知識を持つ人々を生んでしまうのか

弱点である。だからアプリなどの翻訳技術の道具で言語を学ぶのが簡単で多くの人にとって便利であっても、他国の言語を学ばないせいでその国の文化や習慣について学ぶ精神を保てないというところが弱点である。

さらに、ゆみこが述べたよう、ニュージーランドに住みながら日本人の両親を持つ人であっても、日本語学校などに行き、他国の言語や文化に溢れている環境に行かなければ高度なごいかや漢字を知ることができず、その他国の本やニュースや礼儀(マナー)語などに関する理解していない状態を生んでしまう。言語を学ぶ必要がなくなる程、便利になっている翻訳技術はこのような状態を引き起こすのが弱点で、グローバル化が加速し他国との関わりを大切にする現代社会の傾向とあはれはまるとは決して言えない。アプリなどでは再現できない日本語学校が再現する実際日本で行われている授業を経験すること、ゆみこなどは自然と日本語を耳にし、自然と日本の文化や習慣や常識などの理解を深めることができる。このようにしてゆみこが日本語学校で経験したセタのイベントのことを周りのニュージーランドの人達に広めることで他人の日本に対する興味を生むことができる。さらにこの文化を広めて多くの他国の人に知ってもらう利点だけでなく、自分のその国の理解を深め、K-POPに関心のあるサムが韓国語を学んで個人の楽しみを増やせたようにさらに経験を深めることができ、結果的に他国のことを言語以上に理解し、視野を広め、自分の知っている世界を広めることができる。そして、グローバル化が進み他国の文化や価値観が溢れる中、今だからこそ、言語を学ばないという態度より、言語を基準に他国の沢山のことを理解しようとする態度が適切である。なので、翻訳技術が発展しても決して言語を学ばなくてよく済むとはこの理由で反対である。

最後に、先程記したよう、翻訳技術には再現できない他国の言語、文化や習慣を取り込んだ環境に気軽には

行けないサムなどの人にとってはこの翻訳技術は役に立てる^{エラに}
~~と思う~~というのがもう一つの利点であると思う。日本語を学ぶのが
 難しくストレスを感じているサムなどの人にとっては翻訳技術は
 その言語を勉強せずに済むようにではなく、言語を勉強する^{く時に使う}ツール
 としてサムなどの人を助けられたいと思う。そうすると、サムが
 述べたよう頭もよくなり、仕事などがみつきりやすくなる利点や
 先程ゆみこが述べた視野と世界が広がる利点もある。そして
 このことでサムなど日本とはあまり関わりのない人にも日本人と現実
 で顔を合わせて話すようになれる利点もある。しかし、便利士や
 早さを求めるあまりの現象^代はこの翻訳技術を言語を学ばず視野
 を広めなくていいこととつながる人が多い。しかしこの考え方は特
 に今フェイクニュースが増え、サムが^{宿題}をすると主にアフリカ^中正しい
 が甘愛^中やわからない事も増える^中。そんな世の中だからこそ、
 翻訳技術の道具がもたらす利点をもう一度見直し、自分の経験
 を増やし知識を増やし視野を広めるためのツールとして他の
 言語を勉強する必要性を見失う前に使い始めるべきである。

このように翻訳技術の道具がより高度で身近になり世界
 中の多くの人に利用を可能にし、言語を学ぶ時において便利
 なツールとして使える利点があるのを見直し、この技術をもつ
 ように使用するべきか考える必要が個人の中である。そして、
 この意見には賛成する翻訳技術の利点についての部分があ
 る一方、その技術の扱い方に関して反対する意見、両方ともある。
 だからこそ今一度^{この意見を}客観的に見直す必要がある。

READING TEXTS

Read the three texts on pages 6–9 and refer to them in your answer to Question Two on page 10.

TEXT ONE

Sam wrote this blog after he returned from Japan.

すばらしいきかい

A wonderful opportunity

きょねん、半年、東京の高校にりゅう学した。すばらしいけいけんで、日本語がもっと上手になれたらいいなと思ったけど…。

ぼくは、ほかのりゅう学生と学校のりょうに住んでいたの、せかい中からの友だちがたくさんできた。みんなえい語が話せるし、ぼくと同じ年だし、毎日が楽しかった。週末に、ゆうめいなびじゅつかんやはくぶつかん、そして、もちろん、ゆうえんちにもあそびに行った。ぼくたちのグループはとても国さいてきで、週に

レストランの前で何を食べるか
かんがえている友だち

一かいは、いっしょにカラオケに行くことにしていたので、とてもおもしろかった。大都市でも、かんたんにどこにでも行けるので、ぼくは、まよったことがなかった。駅は大きくてこんでいるけど、ふつう、プラットホームのサインは日本語だけじゃなくて、中国語、かんこく語、えい語で書いてあるので、かんじを読まなくてもよかった。おりのタイミングもすぐわかった。きっぷを買う所にも日本語とえい語があつて、行く場所、出発やとうちゃくの時間など、ぜんぶわかりやすい。しかし、りゅうがく中は日本人のかぞくといっしょに住んで、できるだけたくさんの日本語を話したほうがよかったと、今は思っている。そうしたらきつと、しっぱいして、はずかしいことが多くあつても、いいべんきょうになったはずだ。もう少しがんばったら、よかったかな。どうだろう？

immerse
yourself in
the culture to
truly learn

TEXT TWO: しんぱいしないで (Please don't worry)

Hinako, who has taken leave from her job in Japan, is on a working holiday in Aotearoa New Zealand. She sent this email to her boss in Japan.

さとうさま

おげんきですか。ニュージーランドに来て一か月。はじめは、友だちがいなくてさびしかったですが、先週から、南島にある小さな町のホテルで、アルバイトをはじめました。えい語で上手に会話ができないから、だいじょうぶかなと思っていましたが、とてもうれしいことがあったので、メールしました。

ホテルについた日、うけつけではたらいっている人が、「おはようございます。ケイトです。よろしくおねがいします。」とあいさつをしてくれました。私はびっくりしましたが、気分が上がりました。ケイトさんは、日本のアニメが大好きで、それを見ながら、かんたんな日本語をノートに書いていたそうです。だから、少ししか日本語が話せませんが、はやく日本人の私と日本語で話してみたい ^{build connecting} と言っていました。ケイトさんはとてもしんせつで、きのうは日曜日だったから、かんこうちをあんないしてくれました。この地方は、火山とおんせんがゆうめいだそうです。そして、夏休みには、いっしょに北島に行くけいかくをたてました。楽しみです。私たちはジェスチャーをしたり、えをかいたりしながら、言いたいことをつたえています。そして、今はアプリもあるので、べんりです。これから、思い出をたくさん ^{→ better communicate w/ others} つくりたいです。

こまつ ひなこ

TEXT THREE: どこにでもあるよ (It's everywhere!)

These text messages are between Ruby and her Japanese friend Nobu, who lives in Aotearoa New Zealand.

きのう、「モアナ」を見たよ。

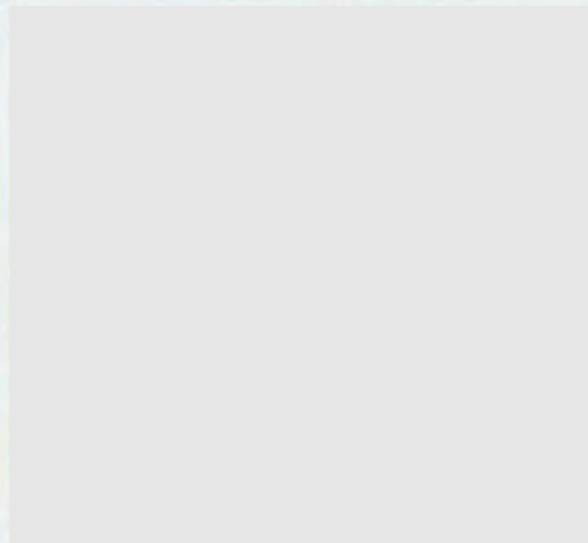
えっ？ すごく人気だったえいが？

うん、ニュージーランドともかんけいがあるよね。

私は、もう、きょねん、マーオリ語でも見たよ。
大好き！

マーオリ語もあるんだね。このごろ、
テレビやラジオのニュース、天気よほう、
こうこくでも、マーオリのことばをよく聞くね。
いろいろな会社の名前にも。

そうだね。このポスター、見たことある？
場所の名前がマーオリ語になってるの。



ほんとだ。少しだけでも知っていたら、読めるね。

学校でも、校長先生のあいさつやニュースレターで
マーオリ語をつかっているから、しぜんに聞いたり、
話したりすることがふえてきたよ。

そうか。せいかつの中で、たくさん出てくるから、
これからは、わからないとこまるかも....

うん。私はようちえんの時からならっているから、
マーオリ語ができるし、小学生の時は、カパハカ
グループにも入っていたから、よかったと思う。
日本人の友だちもいっしょにやっていたよ。

→ learn about the history of certain cultures

いいな。小さい時から、ならうのはいいことだ
よね。ぼくもやってみたいな。

友だちはサマースクールでマーオリ語を少し
べんきょうしてよかったそうよ。
きょうしつが駅に近いし、ただだったし。

それはいいね。ことばがわかると、文化や
しゅうかんも、もっと知りたくなるから。

そうだね。キア・オラ！

キア・オラ！！

Intro - disagree / technically you can but doesn't mean you should

QUESTION TWO

helps to broaden perspective

bp1 - immerse in the culture

bp2 - build connections

bp3 - learn abt culture / history / traditions / customs

"It's good to know a few words in the local language, but you don't need to speak the language fluently. You can get by without it."

Do you agree or disagree with this opinion? Explain why.

Use evidence from the three reading texts, as well as your own and other views, to support and justify your response. Develop a structured and well-considered response.

「現地の言語を少し知っておくことはいいことだが、それを流暢に話す必要はない。そうでなくても、なんとかなるものだ。」

↳ still obtain motivation to try learn

あなたはこの意見に賛成ですか、反対ですか。その理由を説明してください。

三つの読み物の内容、自分やほかの人の意見にもふれながら、自分の回答をサポートし正当化してください。よく考えた内容と構成の議論を展開してください。

Respond in English or te reo Māori.

This statement is technically true as the world becomes a more international environment, ^{and technology improves} the need to speak a certain language decreases, ^{as we have the tools to get by} but doesn't mean it is ethically true or people should halt their motivation to try and learn these certain languages more. This is why, ultimately I disagree with this statement as I believe trying to actively learn a certain language more and more is beneficial as it allows for people to be able to immerse themselves in the ^{local} environment, build connections with people across the globe, and gain knowledge about the cultural and historic context of the local environment, all as seen in each text. These are crucial elements when actively learning a language as they effectively elevate ones personal ^{life} ~~lives~~ and helps to grow meaningful connections and understanding across the world.

Although it is true that one can get by in a

country without speaking the language fluently especially in first world countries ~~as~~ such as Japan, as Sam did in text one, this limits your experiences within these environments, potentially preventing you from expanding your knowledge and connections in countries where you don't try and speak their language. As Sam said, Japan ^{has} ~~had~~ an environment friendly for visitors and tourists such as himself. However, it is important to note that not all countries have these environments with signs with international translations, or easily understandable ^{and identifiable} public transport systems or locations as Japan does, meaning this statement does not necessarily apply worldwide and shouldn't be normalised. ~~as it may halt~~ Furthermore, this mindset halts the potential for people to fully immerse themselves within the environment ^{of} ~~with~~ the respective language, as we saw ~~seen~~ happen to Sam in his blog. He regrets not speaking ^{more} ~~enough~~ Japanese as this would have allowed him to communicate with his Japanese host family and improve his language skills. This is a very significant opinion as if one aims to speak a language more fluently the more they can immerse within the culture, gaining meaningful experiences and eyeopening knowledge ^{and perspectives} they may not gain otherwise, elevating their lives as a whole.

By aiming to learn a language and become fluent one can not only achieve personal meaningful experiences but connections too. As seen in text two, Hinako created a meaningful and fulfilling connection

Kate

with a New Zealander through Kate's action of actively communicating in Japanese with Hinako. In this way building these international connections can be done when one makes the effort to use international languages, allowing for people like Hinako and Kate to exchange information about their respective countries and enhance their personal communication skills. As our world today is heavily interconnected through multiple countries as we aim to understand and embrace ^{cultures} from all over the world, these sorts of actions that create connections are especially meaningful. Furthermore, as people connect from varying locations thanks to recent advancements such as technology, social media and blogs, ^{creating these relationships} ~~connecting~~ with one another is now easier than ever, making the effort of reaching out to one another, despite differing languages, ~~the core of creating these connections~~, a significant quality now more than ever. ^{Therefore, this is an} ~~being a~~ ^{aim to} ~~adequate~~ reason for people not just to get by but rather aim to understand these people that speak foreign languages and be eager to learn more, to expand these connections.

Finally, when one rather than aiming to just get by, truly embraces the environment and people of these specific locations, they are able to ^{gain knowledge} ~~create a~~ regarding the culture, history and customs of these locations, consequently creating a more diverse world. As seen in text three, both Ruby and Nobu (especially Ruby) make efforts to embrace the cultural and historical context of Aotearoa especially ~~to~~.

Extra space if required.

Write the question number(s) if applicable.

QUESTION
NUMBER

2

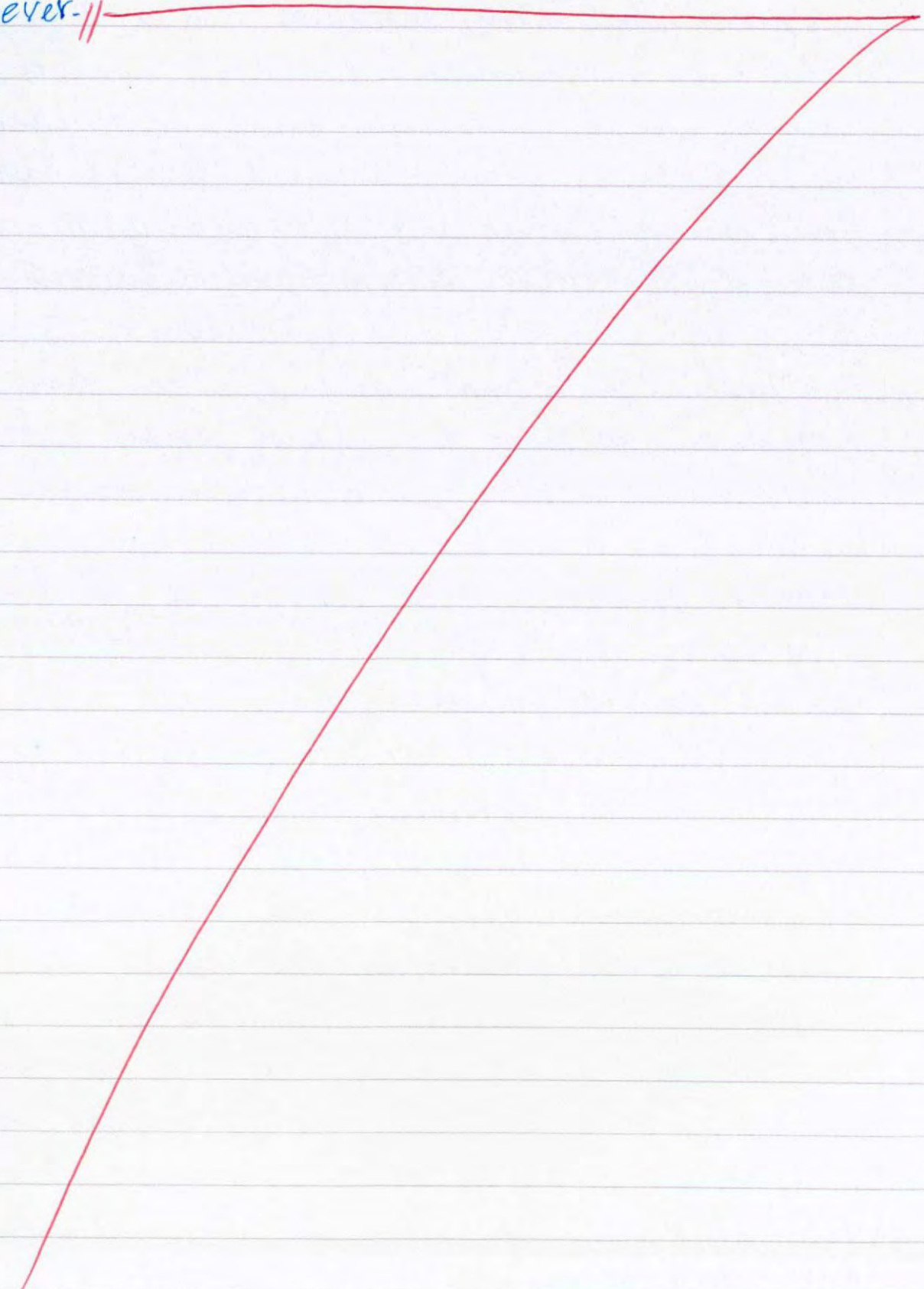
~~They may be able to learn more about the culture~~ Through watching movies relevant to New Zealand in Maori and recognising the several instances such as TV, the ^{news on} radio, the weather forecast, advertisements, concert posters and school notices or teachers all using Maori, a significant and crucial part of New Zealand^d culture and history, they grow more aware of the culture, customs and traditions unique and important to New Zealand. Expanding this knowledge internationally as Nobu does and domestically as Ruby does enables peoples understanding of crucial elements of a country to be enhanced, bringing focus to significant factors of varying countries history and culture. ^{This ultimately, allows the to} ~~so as a world we can~~ ^{and international mutual understanding} truly achieve diversity, a key component to a peaceful and accepting world.

Overall, the attitude to just get by and not aim to get better at speaking or understanding ^{a language} is inadequate as it halts ^{individuals} ~~one~~ from gaining more meaningful experiences and interactions and therefore a more perceptive and open minded view on life but also prevents the world from being as accepting and diverse as it aims and has potential to be, especially as we aim to unite through uncertain times after coming out of the pandemic, facing detrimental environmental issues or heartbreaking wars. Language, therefore is a tool to unite us to

Extra space if required.
Write the question number(s) if applicable.

QUESTION
NUMBER

2 understand one another and our homes and bring
us together, something needed now more than
ever-//



Acknowledgements

Images from the following sources have been adapted for use in this assessment:

Text 1

<https://www.iwasaki-ts.co.jp/en/about/>

<https://japandictionary72.com/tag/cultural-tips/>

Text 2

<https://tabizine.jp/2022/08/07/483767/>

Text 3

<https://www.nzherald.co.nz/entertainment/sky-news-host-calls-out-six60-for-te-reo-on-poster-band-hits-back/P55CSJCK53RMPBXQQI3HQ6XARY/>

93002